

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境保全推進課
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	環境保全意識の啓発		事業実施主体	市
	事務事業	環境保全推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	国が主催する6月の環境月間に併せて環境展を実施し、環境問題を考える契機を提供するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施により、環境活動団体の支援やより一層の市民の環境意識の向上を図る。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。				
30年度概要	環境展を開催するとともに、環境学習の実施や環境活動団体の支援を行うことにより、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。環境省などが主催する「星空の街・あおぞらの街」全国大会は、大気環境の保全意識を高めるとともに、郷土の環境を活かした地域おこしの推進に役立てることを目的として開催されており、第30回大会を本市で開催する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


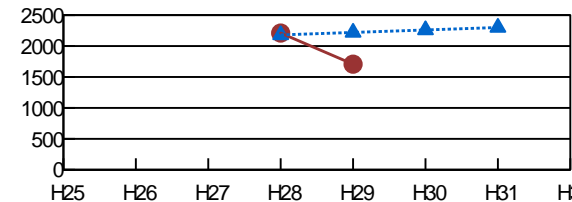
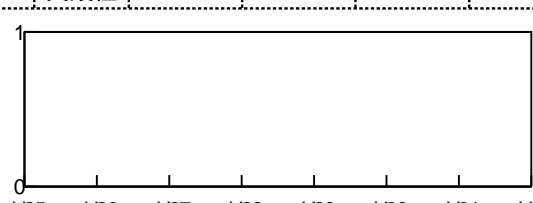
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	環境活動団体や関係機関と協力して環境学習講座を実施するとともに、講座の開催等について市の広報誌やホームページに掲載し、参加者の増加に努めることにより、市民の環境意識の底上げを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
環境学習講座実施回数	回		73	68	75	75

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
環境学習講座参加者数	人	目標値		2,180	2,220	2,260	2,260
		実績値		2,210	1,707		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 環境保全推進課分室の閉所により環境学習講座実施回数は減少したが、こども未来館や瓦町FLAGなどの新たな施設における講座においても多数の参加を得ており、市民の環境意識の向上が図られている。 		(目標達成度)					(達成度) 76.9% 26点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	40,983	37,356	40,773	56,129
（事業費）	[円]	9,507	9,092	5,873	17,435
（職員人件費）	[円]	31,476	28,264	34,900	38,694

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>B</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
環境問題に対する市民意識の高まりは依然高く、本市の環境の現状について市民に知らせる環境白書の発行や、環境展の開催、環境学習の実施は、市民にとって環境問題を考えるきっかけ作りとなっており有意義であり、継続が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
環境問題に対する市民意識の高まりに対応するとともに、より一層の意識啓発を行う必要があることから、継続する必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	南部クリーンセンター
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-890-2190
	基本事業	環境保全意識の啓発		事業実施主体	市
	事務事業	南部クリーンセンター環境学習事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	南部クリーンセンターの施設を活用して、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供する。「エコホタル」の展示ギャラリーでは、環境パネル展や、環境に関する図書の閲覧、またパソコンによる環境クイズなどを利用して環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクルを体験してもらい、参加者の環境意識の向上に寄与する。				
30年度概要	利用者数（見学者・学習室利用者等） 年3,200人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年15回 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


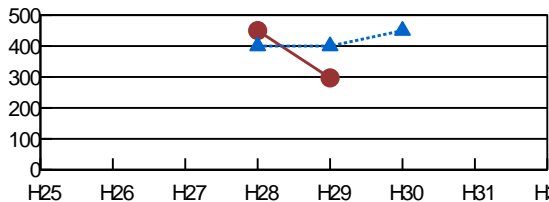
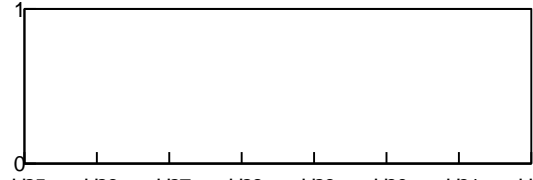
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ問題を始めとする環境学習の場を提供して、広く市民の環境意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
エコホタル自主企画講座回数（見学会等を含む。）	回		12	12	15	15

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
エコホタル自主企画講座参加者数（見学会等を含む。）	人	目標値		400	400	450	450
		実績値		450	297		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成22年度から24年度までの3カ年の平均人数（自主企画講座参加者数428人）等を参考に目標値を、400人としていた。本年度は台風による親子施設見学会の中止などのため、参加者が減少し、目標を達成できなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 74.3% 26点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	9,725	8,228	7,919	7,957
（事業費）	[円]	2,048	377	332	370
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

夏休み・冬休み工作会では内容を一部見直して実施し、盛況であったが、親子施設見学会では台風のため1日中止となり、また、参加者数も低調であった。内容のマンネリ化など課題もあり、魅力ある事業の実施について検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

NPO法人等とも協働する中で、工場見学時の工夫や展示啓発ギャラリーの活用など、魅力ある自主企画事業を開催し、環境保全意識の啓発を推進する。